

CORBY
JOHN CORBY LIMITED

コルビー・ズボンプレスサー

取扱説明書〈保証書付〉

型式：3000JA・3300JA・4400JTB

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

■お客様へ



- このたびは、英国CORBY社製ズボンプレスコルビーサーをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この「取扱説明書〈保証書付〉」は、ズボンプレスサーのお取り扱い方法、保証等について説明しています。
- 安心してご使用いただくために必ずお読みいただき、末長く手元に保管してご活用ください。

■目次




- 安全上のご注意…………… 2～3
- 製品仕様と各部の名称…………… 4
- ご使用上のご注意…………… 4
- 脚の取付け方法…………… 5
- ハンガーの取付け方法…………… 5
- ご使用の方法…………… 5～6
- ストレッチャーバー・システムについて…………… 6
- お手入れの方法…………… 6
- コルビー・ズボンプレスサー保証書…………… 7



■安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。





	警告 ：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 ：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例

 感電注意	△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
 分解禁止	⊙記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 プラグを抜く	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

 警告	
 分解禁止	●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

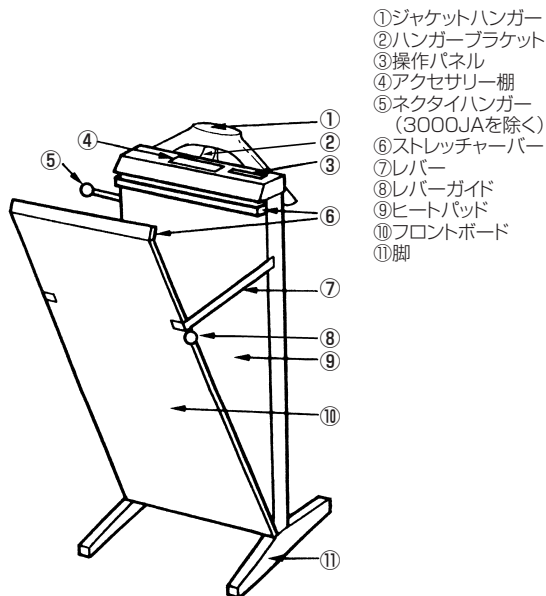
注意

 プラグを持つ	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火の原因になります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">●フロントボードとレバーの間に手を挟まないようにしてください。けがの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none">●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるい時は使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、狭み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。●交流100V以外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。●こんろやストーブの近くでは使用しないでください。過熱して発火の原因になります。●ふとんや毛布などでくるまないでください。部分過熱して発火の原因になります。●濡れたズボンはプレスしないでください。ヒートパッドを傷め、発火や異常動作の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none">●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

- お読みになった後は、お使いになる人がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- この商品を他の人に譲渡するときは、新しく所有者となる人が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書〈保証書付〉」を商品本体の目立つところに必ず貼付してください。

製品仕様と各部の名称

型 式	3000JA 3300JA	4400JB
電気定格	100V・50/60Hz	
消費電力	250W	
タイマー	30分	15/30分切替
サーモスタット	内 蔵	
通電ランプ	付	
外形寸法	幅	460mm
	奥行	360mm
	高さ	1,090mm
フロントボード 開口時奥行	480mm	
本体重量	9.8kg	
コード長	1.8m	



- ①ジャケットハンガー
- ②ハンガーブラケット
- ③操作パネル
- ④アクセサリ棚
- ⑤ネクタイハンガー
- ⑥ストレッチャーバー
(3000JAを除く)
- ⑦レバー
- ⑧レバーガイド
- ⑨ヒートパッド
- ⑩フロントボード
- ⑪脚

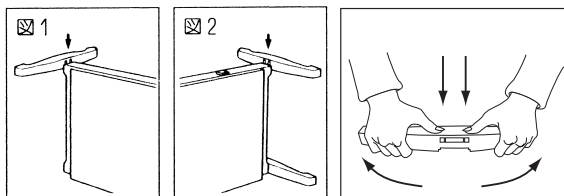
※脚・ジャケットハンガーは同梱部分となっています。(P.5「脚の取付け方法」および「ハンガーの取付け方法」をご参照ください)

※製品の仕様およびデザインは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ご使用上のご注意

- 1 フロントボードとレバーの間に手を挟まぬようご注意ください。
- 2 ズボンをセットしてレバーを下げる際、前面に垂れ下がったズボンが、左右のレバーとレバーガイドに巻き込まれないようご注意ください。
- 3 ズボンは湿らせる必要はありません。
また、濡れたズボンはプレスしないでください。ヒートパッドを傷め、異常作動や発火の原因となります。
- 4 ズボンをプレスするときポケットに何も入っていないことを確認してください。コイン等が入っているとヒートパッドを傷める原因となります。
- 5 通常アイロンで使用できる繊維はプレスすることができます。洗濯表示に従ってください。
- 6 ズボンは裾から入れ、折り目のラインがきちんとセットされているかを確認してください。
- 7 ズボンプレス機はズボンの折り目をととのえるものです。完全に型くずれしたズボンはアイロンでお手入れしてください。
- 8 ご使用後は、必ずフロントボードを閉じてください。
- 9 ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

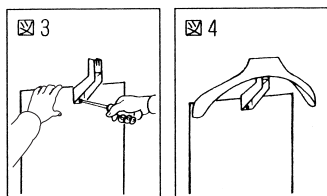
■脚の取付け方法〈共通〉



- ・本体を横に倒し、図1、2のようにして脚の切込み部分を本体下部のガイドにあてがい「カチッ」というまで押し込んでください。
- ・脚はその切込み部分より長い方が正面側となりますので、間違わないように取付けてください。

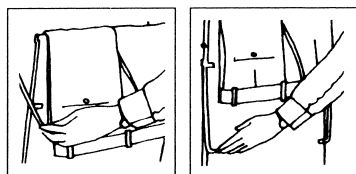
脚が押し込みにくい場合、図のように脚の切込み部分を両手で押し広げるようにしながら、本体下部のガイドにあわせてください。

■ハンガーの取付け方法



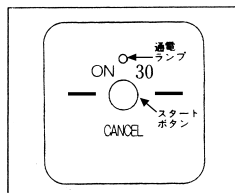
- ・同梱のハンガーブラケットを⊕ネジを2本使って図3のように取付けてください。その際、ドライバーでしっかりとネジを押しつけながらドライバーをまわしてください。
- ・ハンガーブラケットに図4のようにハンガーを差込み、「カチッ」というまで押込んでください。

■ご使用の方法



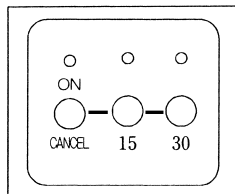
- ・レバーを上げ、フロントボードを開きます。
- ・ズボンを裾から入れてセットします。この時折り目がきちんと合っているかを確認し、同時にシワ等がでないようにセットしてください。
- ・レバーを下げ、フロントボードをロックしてください。
- ・電源プラグをコンセントに差し込んでください。

【タイマーのセット方法】



〈3000JA・3300JA型〉

- ・スタートボタンを押してください。同時に通電ランプが点灯してプレスが開始されます。
- ・プレスは内蔵のタイマーにより約30分後に自動終了し、同時に通電ランプが消灯します。
- ・プレスを途中でキャンセルしたい場合には、再度スタートボタンを押すと通電が中止され、通電ランプが消灯します。



〈4400JTB型〉

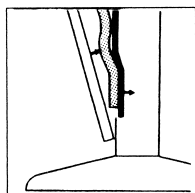
- ・タイマー設定ボタンの“15=15分”または“30=30分”の何れかを選択して押してください。選択された方のタイマーランプが点灯します。
- ・次にスタートボタンを押してください。同時に通電ランプが点灯してプレスが開始されます。
- ・プレスは設定時間を経過すると自動終了し、同時に通電ランプ、タイマーランプ共に消灯します。

- ・プレスを途中でキャンセルしたい場合は、再度スタートボタンを押すと通電が中止されます。この際、通電ランプは消灯しますが、タイマー設定ボタンのランプは約5分後に消灯します。
- ・プレス途中でプレス時間を変更または追加したい場合には、上記の方法で一度プレスを中断し、再度タイマーをセットしてください。初めに設定したプレス時間はリセットされます。
- ・通常のプレスの場合は30分、ちょっとしたプレスの場合には15分を目安としてください。

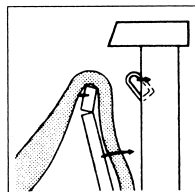
【上手なプレス方法】

- ・折り目のつきにくい厚めの生地の場合には、プレス終了後もしばらく本体にセットしたままにしておいてください。
- ・薄目の生地の場合にはプレスが掛かりにくい場合があります。その際は本体にズボンをセットする時に、裾の部分がはさみ込まれたらズボン全体を軽く上に引き上げるようにしてフロントボードを閉じてください。

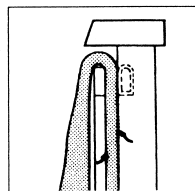
■ストレッチャーバー・システムについて



- CORBY社独自の開発によるストレッチャーバー・システム（引伸ばし機構）は、フロントボードを閉めるときにズボンを自動的に引伸ばし、シャープな折り目をつけると同時にひざの後ろ側の見苦しいシワも取り除きます。



- フロントボードを閉じる寸前に、ストレッチャーバーがズボンをはさみ込みます。



- ズボンの裾がダブルの場合でも、クッション性に富んだヒートパッドが調節。しっかりとズボンをはさみ込みます。

- フロントボードを閉じると自動的にズボンを引き上げ、シワを伸ばすと同時にシャープなプレスを行います。

■お手入れの方法

- フロントボードの内側は、乾いた布で拭いてください。
- クレンザー等の研磨材は使用しないでください。損傷の原因となります。
- ヒートパッドに水等をつけて拭いたりしないでください。異常動作や発火の原因となります。
- 樹脂部分のひどい汚れは中性洗剤のうすめ液を含ませた布で拭き、その後必ず乾いた布でカラ拭きしてください。

■保証書・アフターサービスについて

- 保証書はお買上げの販売店で発行しますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については有料修理となります。
保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または、保証書に記載してある本社および大阪支店にお問い合わせください。
- 当社はこのズボンプレッサーの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

コルビーズボンプレッサー3000JA・3300JA・4400JTB型

お 買 い 上 げ 日		年 月 日		持 込 修 理
保証期間 (お買上げ日より)		本体3年 (電気部品のみ)		
お 客 様 ご 住 所 (フリガナ) お 名 前		□□□-□□□□ TEL () —		様 印
販 売 店	店 名 住 所	TEL () —		

- この保証書はお買上げの日から3年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合には、お買上げの販売店または、下記に記載してある本社および大阪支店にお問い合わせください。
 - お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- (1) 万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。
 - (2) 無料修理は、お買上げの販売店または下記に記載してある本社および大阪支店にご依頼ください。また、無料修理をお受けになる際は、必ず本書をご提示ください。
 - (3) 離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係わる費用は実費を頂きます。
 - (4) 次の様な場合には、保証期間中であっても、有料修理となります。
 - (イ) 誤った使用方法あるいは取扱上の不注意による故障や損傷。
 - (ロ) 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
 - (ハ) お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外 (例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載) に使用した場合の故障や損傷。
 - (ヘ) 本書の提示がない場合。
 - (ト) お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。
 - (5) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan.
 - (6) 修理内容の記載欄は、修理伝票等の発行をもって代替させていただきます。

英国コルビー社 日本総代理店

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社



本 社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビルディング9F TEL (03) 5643-1331 (代) FAX (03) 5643-1335
 大阪支店 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル6F TEL (06) 6125-2620 (代) FAX (06) 6125-2607